

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

総合グラウンドの指定管理者の問題点を指摘

2月24日の議会開会日、4月1日からの運営に支障をきたすため「議案30号 指定管理者の指定について（八千代市総合グラウンド）」が先議として、文教安全常任委員会、本会議で審議されました。

総合グラウンドの維持管理については、昨年6月議会で「9月より開業するにあたり、指定管理者を指定する議案」が上程されていました。

しかし、日本共産党は「そもそも、財政が悪化している今建設を行うべきでないことに加えて、液状化した場所に公式記録を測定できるグラウンドを建設すべきでない」との立場から反対、また他の会派の議員も駐車場の建設が遅れていることを理由に反対しました。

9月からはやむを得ず市が直接営業することとなり、改めて4月からの指定管理者を選ぶために今回の議案となったものです。

住民の安全の観点から直営で存続すべき

日本共産党は文教安全常任委員会で伊原忠議員が質疑いたしました。（主なもの）

- ・なぜ、市の直営としないのか？ →市の職員ができない専門的指導ができるから。
- ・以前よりある2団体が共同事業体となった経緯は？
 - 市内のスポーツ団体を把握している団体と経営経験のある団体が共同していくためではないか
- ・15ポイント下回った団体が選ばれたのは問題ないか？
 - 選定者5名のうち4名が高い評価を出した団体を選んだから
- ・市が単独運営できない施設を建設すること自体に問題があるのでは
 - 市民の要望に応えられる施設を考えて指定管理者とした

など、質疑のほとんどが日本共産党伊原議員の質疑（他1名が質疑）でありました。しかし、質疑の内容を見てもわかるように、市が単独事業をはじめから行う考えはなく、建設前より指定管理者任せに運営する考えであったことがわかります。

また、市の職員ができない専門的な指導についても具体的な内容などの説明がなく、指定管理者ありきの答弁でした。

日本共産党は指定管理者の問題点として、住民の継続的、安定的に自治体の施策を受ける権利に反する。また、企業は効率性や収益を重視するため撤退や倒産もあり得ることを指摘、自治体は住民の安全や生活を守る立場から非効率でも直営で存続するべきであると主張しました。

